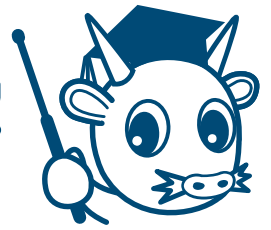


# 3つのステップで短歌を詠んでみよう！



## ? 短歌ってどんなもの？

心こころを動うごかされる景色けしきや出来事できごとなどを、五・七・五・七・七ご しち ご しち しちの三十一文字さんじゅういちもじで言い表いした詩しです。

【例：声こえに出だして読よんでみよう】

「寒さむいね」と 話はなしかければ 「寒さむいね」と 答こたえる人ひとの いるあたたかさ (俵たわら 万智まち)  
 5文字 7文字 5文字 7文字 7文字

### STEP 1 テーマを決めよう

どんなことたんかを短歌かんがにしたいか考えてみよう。  
 自分じぶんの好きなことすや、楽しかったことたの、感動かんだうしたことなど、自由じゆうに選えらんでみてね。

#### テーマの例

- がっこう ・ 学校がっこうでのできごと
- かぞく ともだち ・ 家族、友達
- す ・ 好きなスポーツ
- どうぶつしよくぶつ ・ 動物、植物
- い ばしょ ・ 行ってみたい場所
- なつやす おも で ・ 夏休みの思い出
- しょうらい ゆめ ・ 将来の夢
- けしき ふうけい ・ 景色、風景

### STEP 2 つながりのある言葉を書き出そう

決きめたテーマから思おもいつく言葉ことばを、たかくさん書だいてみよう。  
 このときもじは、文字かずの数は気きにしないで、頭あたまにうかんだ言葉ことばをたかくさん書かこう。

### STEP 3 五・七・五・七・七のリズムにあわせよう

STEP2 で集あつめた言葉ことばを組くみ合あわせて、「五・七・五・七・七」に当ごてはめごてみよう。  
 でき上あがったら、声こえに出だして読よんでみるよといいよ。

※字余じあまり（文字数もじすうが多いこと）・字足おおらず（文字数もじすうが少ないこと）でも大丈夫すく！  
 伝つたえたいことひょうげんが表ことば現ためできるよに、いろいろんな言葉ことばを試ためてね。

## 上級者のあなたへ いろいろな表現のしかたにチャレンジしてみよう！

- ひゆ 比喩ひゆ（たとえる）  
例：「雪ゆき」の比喩ひゆ⇒「白しろい綿わたのような雪ゆき」
- たいげんど 体言止たいげんどめ（最後さいごが名詞めいしで終おわる）  
例：「空そらが青あおい」の体言止たいげんどめ⇒「青あおい空そら」
- ついく おな こうせい ご なら 対句たいく（同おなじ構こう成せいの語ごを並ならべる）  
例：おじいさんは山やまへ芝刈しばかりに、おばあさんは川かわへ洗濯せんたくに
- ぎおんご ぎたいご おと ようす あらわ 擬音語・擬態語ぎおんご（音おとや様よう子すを表あらわす）  
例：わくわく、どんより、ガタン、もりもり
- かんじ つか わ 漢字とひらがなの使い分けかんじ（あえてひらがなつかを使うと、やわらかい印象いんしょうになるよ）